



金沢大学 / JU-MAB連携大学

SDGs世代間学習プログラム（冬）

Intergenerational Learning Program toward SDGs
[Winter Program]

ユネスコエコパーク ユースネットワークの設立と
SDGsに向けた世代間学習プログラム

SDGs（Sustainable Development Goals）17の目標のうち、ユネスコ登録地域、主に生物圏保護区とその他の保護区をプラットフォームとし、生物文化の多様性、自然保護、地域の持続的発展について考えるプログラムです。学生と地域の方々とが世代間交流を行い、SDGsについて学びます。本プログラムでは「白山BRユースネットワーク」を設立し、国内外の他BRユースネットワークとの連携や若者の地域貢献活動の推進を目指します。

【開催日・場所】

2025年2月21日（金）～24日（月）
石川県 白山ユネスコエコパーク

【主なプログラム】 ※プログラムは変更になる場合があります

◆2月21日(金)午前 金沢出発～白山市白峰へバスで移動

◆2月21日(金)午後～23日(日)

◆白山ユネスコエコパーク オリエンテーション

「山と暮らす奥山人のまち～白峰の生活」

◆白峰重要伝統的建造物群保存地区フィールドワーク

◆石川県立白山ろく民俗資料館 見学

◆豪雪地帯の暮らし体験 かんじき、雪かき、雪だるま

◆「白山BRユースネットワーク」設立ワークショップ
白山BRの特徴を活かしたアイデアをグループで発表

◆2月24日(月) 白山市白峰を出発 金沢で解散



SDGs世代間学習プログラム（冬）

Intergenerational Learning Program toward SDGs [Winter Program]

【本プログラムについて】

豊かな生態系、生物多様性の保護、文化・経済・社会の持続可能な開発を目的とし、国際的に評価の高いユネスコエコパークに焦点を当てています。参加学生は、ユネスコエコパークおよび世界ジオパークにW認定されている白山市白峰地域（石川県）を訪問し、奥山ならではの地域生活や文化・自然を体験します。また、移行地域（トランジションエリア）に暮らす地元ガイドや住民が学生をサポートし、世代間交流を実施。若者が自主的に地域貢献活動を行うための組織「白山BRユースネットワーク」を設立し、地域の持続可能な発展につながるプロジェクトの推進を目指します。

【申し込みについて・費用】

対象学生：日本MAB連携大学間ネットワーク（JU-MAB）参画大学（筑波大学、横浜国立大学、京都大学、愛媛大学、宮崎大学、金沢大学）に在籍する学部生、大学院生、留学生。学部・研究分野は問いません。その他の大学からの募集も受け付けます。

定員：15名
応募者が定員を超えた場合は、志望動機により選考します。

使用言語：基本的に日本語で行われます。

プログラム参加費：無料

【ご確認ください】集合場所（金沢駅）までの往復交通費、プログラム中の食費は**参加者負担**となります。プログラム中の宿泊費は事務局が負担します。

宿泊：宿泊は他の学生と相部屋になる場合があります（男女別）。

申込期限
2025年1月31日（金）



申し込みはこちらから

<https://forms.gle/EYquSvGzMb2KEjp2A>

このプログラムは、金沢大学国際日本研究センター ママードゥア・アイダ准教授によるコーディネートのもと実施されます。本プログラムは、澁谷学術文化スポーツ振興財団「2023年度 文化活動に対する助成金」の助成を受けたものです。

事務局：特定非営利活動法人 白山しらみね自然学校
電話：080-3482-1170（担当：中塚）
メール：www.shiramine.org@gmail.com